

2015.10.6 - 12.13

「Re: play 1972/2015—「映像表現 '72」展、再演」 出品リスト  
東京国立近代美術館

■石原 薫 (1930-1980)

□《無題》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

8mm フィルム (フィルム規格不明 | カラー、B&W の別不明) | 2 本  
8mm 映写機 (FUJICASCOPE M30、Canon CINESTAR S-400) | 2 台  
時間不明 (ループ)  
映像投影用の布 (約 幅 1000mm×長さ 4500mm)

「Re: play 1972/2015」

1972 (昭和 47) 年/2015 (平成 27) 年

作品の現存確認できず

8mm 映写機 (FUJICASCOPE M30、Canon CINESTAR S-400) | 2 台/通電せず  
映像投影用の布 (幅 1000mm×長さ 4500mm) /2015 年再制作  
布にスクリーンサイズ、位置を点線表示  
展示記録写真 (1972 年撮影)

□《Mou-\$ 178》1970 年 8mm フィルム (デジタル化) 15 分

■今井 祝雄 (1946- )

□《切断されたフィルム》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

16mm フィルム断片をマウントしたスライド (カラー、B&W) | 81 枚  
35mm スライドプロジェクター (Kodak Carousel 800、5 秒間隔で自動送り、エンドレス)  
床にまかれた 16mm フィルム断片

「Re: play 1972/2015」

1972 (昭和 47) /2015 (平成 27) 年

16mm フィルム断片をマウントしたスライド (カラー、B&W) | 81 枚  
35mm スライドプロジェクター (Kodak Ektagraphic III ATS、5 秒間隔で自動送り、エンドレス)  
床にまかれた 16mm フィルム断片  
作家蔵

□《ジョインテッド・フィルム》1973 年 16mm フィルム (デジタル化) 19 分 40 秒 作家蔵

□《映像のかけら 32 片》1973 年 ゼラチン・シルバー・プリント 作家蔵

□《位置の検証 F-2》1968/1973 年 ゼラチン・シルバー・プリント 作家蔵

□インタビュー | 今井祝雄 2015 年 20 分

■植松 奎二 (1947- )

□《Earth Point Project - Mirror》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

8mm フィルム (シングル 8 | カラー)

8mm 映写機 (ELMO FP-A)

9 分 40 秒 (ループ)

鏡 (500mm×500mm)

「Re: play 1972/2015」

1972 (昭和 47) 年/2015 (平成 27) 年

以下 A、B を併用

A. 8mm フィルム (シングル 8 | カラー) [1972 年オリジナルのフィルムをデジタル化後、8mm フィルムで再撮影]

8mm 映写機 (ELMO ST-180)

B. ヴィデオ [1972 年オリジナルのフィルムをデジタル化後、デジタルベータカムに収録] 液晶プロジェクター+メディアプレーヤー

9 分 40 秒 (ループ)

鏡 (500mm×500mm) /2015 年再制作

作家蔵

□《23.5》1970 年 8mm フィルム (デジタル化) 4 分 20 秒 作家蔵

□「スケッチブック：フィルム・プロジェクト」1972 年 作家蔵

□「手帳」1972 年 作家蔵

□インタビュー | 植松奎二 2015 年 20 分

■植村 義夫 (1938- )

□《Moving Picture 2》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

8mm フィルム (シングル 8 | B&W)

8mm 映写機 (FUJICASCOPE SH1)

約 17 秒 (ループ)

シルバーに塗装した投影用ボード (幅 841mm×高さ 594mm)

「Re: play 1972/2015」

1972 (昭和 47) 年/2015 (平成 27) 年

8mm フィルム (スーパー 8 | B&W) [1972 年オリジナルのフィルムをデジタル化後、8mm フィルムで再撮影]

8mm 映写機 (FUJICASCOPE SH1)

17 秒 (ループ)

作家蔵

□《Shoot》1970 年 8mm フィルム (デジタル化) 13 分 30 秒 作家蔵

□《Moving Picture 2》撮影素材 | 『季刊写真映像 第 9 号』(写真評論社、1971 年) に紙焼き写真を貼付 1972 年 個人蔵

■柏原 えつとむ (1941- )

□《足を洗いましょう》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

8mm フィルム (スーパー 8 | カラー)

8mm 映写機 (FUJICASCOPE M40)

約 1 分 45 秒 (ループ)

自筆文字の書かれた用紙 (幅 1030mm×高さ 728mm) | 6 枚

「Re: play 1972/2015」

1972 (昭和 47) 年/2015 (平成 27) 年

以下 A、B を併用

A. 8mm フィルム (シングル 8 | カラー) [1972 年オリジナルのフィルムをデジタル化後、8mm フィルムで再撮影]

8mm 映写機 (ELMO ST-180)

1 分 45 秒 (ループ)

B. ヴィデオ [1972 年オリジナルのフィルムをデジタル化後、デジタルベータカムに収録]

液晶プロジェクター+メディアプレーヤー

3 分 45 秒 (ループ)

自筆文字をデータ化した切り文字をスクリーンに貼付 (幅 1030mm×高さ 728mm) | 6 枚/2015 年再制作

作家蔵

□《サタワル》

1971年 8mm フィルム (デジタル化) 18分 03秒 作家蔵

□「おわらないから……くりかえすのだ……」 [特集: 誌面開放計画] 『美術手帖』 (1972年 10月号)

□「“了解への幻想”から“誤解への現実”へ」 『美術手帖』 (1973年 4月号)

□《足を洗いましょう》上映のためのドローイング 1988年頃

□インタビュー | 柏原えつとむ 2015年 20分

■河川 龍夫 (1940- )

□《ふたつの視点と風景》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

8mm フィルム (シングル 8 | B&W) | 2本

8mm 映写機 (ELMO FP-A) | 2台

3分 15秒 (ループ)

「Re: play 1972/2015」

1972 (昭和 47) 年 / 2015 (平成 27) 年

以下 A、B を併用

A. 8mm フィルム (スーパー 8 | B&W) [1972年オリジナルのフィルムをデジタル化後、8mm フィルムで再撮影] | 2本

8mm 映写機 (ELMO ST-180) | 2台

B. ヴィデオ [1972年オリジナルのフィルムをデジタル化後、デジタルベータカムに収録] | 2本

液晶プロジェクター + メディアプレーヤー | 各 2台

3分 15秒 (ループ)

□《陸と海》1970年 8mm フィルム (デジタル化) 4分 10秒

□《感光》1971年 印画紙、自然光

□インタビュー | 河川龍夫 2015年 20分

■庄司 達 (1939- )

□《無題》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

8mm フィルム (シングル 8 | カラー)

8mm 映写機 (FUJICASCOPE M25)

約 1分 (ループ)

鏡 | 8個

「Re: play 1972/2015」

1972 (昭和 47) 年 / 2015 (平成 27) 年

8mm フィルム (シングル 8 | カラー) [1972年オリジナルのフィルムと同リール、別テイクをデジタル化後、8mm フィルムで再撮影]

8mm 映写機 (ELMO ST-180)

55秒 (ループ)

鏡 | 8個 / 2015年再制作

作家蔵

□《浜辺にて》1972年 8mm フィルム (デジタル化) 9分 44秒 作家蔵

□「日記」1972年 作家蔵

□「鏡パーツ再制作のための資料」2015年 作家蔵

□インタビュー | 庄司達 2015年 20分

■長澤 英俊 (1940- )

□《Number 1》

「映像表現 '72」

1971 (昭和 46) 年

8mm フィルム (スーパー 8 | カラー)

23分

「Re: play 1972/2015」

1971 (昭和 46) 年 / 2015 (平成 27) 年

ヴィデオ [1971年オリジナルのフィルムをデジタル化後、VHS に収録] 液晶プロジェクター + メディアプレーヤー (スクリーン背面から投影)

23分

作家蔵

■野村 仁 (1945- )

□《Route 161》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

ヴィデオ (1/4 インチ・オープンリールテープ | B&W、サウンド) | 8本 VTR (AKAI VT-110) + テレビモニター (機種不明)

160分

「Re: play 1972/2015」

1972 (昭和 47) / 2015 (平成 27) 年

以下 A、B を併用

A. ヴィデオ [1972年オリジナルのヴィデオテープ (1/4 インチ・オープンリールテープ) からデジタルベータカムに収録] | 7本

メディアプレーヤー

B. ヴィデオ [1972年オリジナルのヴィデオテープ (1/4 インチ・オープンリールテープ) からデジタルベータカムに収録後、再度、新規 1/4 インチ・オープンリールテープに収録] | 1本

VTR (AKAI VT-110)

テレビモニター (三菱 14CT-17IT)

160分

□《Graphilm》1970年 16mm フィルム (デジタル化) 17分

□《Jump : 一般府道 10号京都線に於て》1972年 16mm フィルム (デジタル化) 8分

□インタビュー | 野村仁 2015年 20分

■彦坂尚嘉 (1946- )

□《フィルム・デュエット: 垂直の海 (UPRIGHT SEA) 》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

16mm フィルム (カラー)

16ミリ映写機 (HOKUSHIN SC07) | 2台

9分 45秒 (ループ)

「Re: play 1972/2015」

1972 (昭和 47) 年 / 2015 (平成 27) 年

16mm フィルム (ブラック・リール)

16mm 映写機 (EIKI ESL-1) | 2台

ヴィデオ [1972年オリジナルのフィルムをデジタル化後、デジタルベータカムに収録]

液晶プロジェクター + メディアプレーヤー | 各 2台 (スクリーン背面から投影)

9分 45秒 (ループ)

作家蔵

□「 [特集: 誌面開放計画] より 『美術手帖』 (1972年 10月号) 」

■松本正司 (1931-2008)

□《かの虚構のなかの虚像の》

「映像表現 '72」

1972 (昭和 47) 年

スライド (枚数不明)

スライドプロジェクター（キャビン AV-7000、エンドレス）  
ビデオカメラ（機種不明）＋ビデオテープ（規格、時間など  
詳細不明）＋VTR（機種不明）＋TVモニター（機種不明）  
8mm フィルム（規格、時間など詳細不明）  
8mm カメラ（FUJICA Z2、オートマティックシャッター）＋CVRプレーヤー  
（富士フィルム）＋TVモニター（機種不明）  
8mm 映写機（ELMO GP-DELUXE）  
自立式透過スクリーン（約 幅 2700mm×高さ 1800mm）

「Re: play 1972/2015」

1972（昭和 47）年／2015（平成 27）年  
作品現存確認できず  
8mm カメラ（FUJICA Z2）  
TVモニター（SONY TV-330U、National TH11-S4） | 2台／通電せず  
8mm 映写機（ELMO GP-DELUXE）／通電せず  
自立式透過スクリーン（幅 2700mm×高さ 1800mm）／2015年再制作  
壁面にスクリーンサイズ、位置を点線表示  
1972年撮影の展示記録写真

□《The Germ》1971年 8mm フィルム（デジタル化） 28分 10秒  
松本司氏蔵

■宮川 憲明（1945-）

□《無題》

「映像表現 '72」

1972（昭和 47）年  
8mm フィルム（フィルム規格不明 | カラー）  
8mm 映写機（ELMO ST8 MO）  
1分（ループ）  
秒針のない置時計（既製品を加工）  
自作の鉄製台、鉄製のループ機構

「Re: play 1972/2015」

1972（昭和 47）年／2015（平成 27）年  
作品現存確認できず  
床に鉄製台サイズ、位置を点線表示  
展示記録写真（1972年撮影）

■村岡 三郎（1928-2013）

□《無題》

「映像表現 '72」

1972（昭和 47）年  
8mm フィルム（フィルム規格不明 | カラー、B&W の別不明）  
8mm 映写機（機種不明）  
2分 40秒（推定）  
材木（長さ 2000mm）

「Re: play 1972/2015」

1972（昭和 47）年／2015（平成 27）年  
作品現存確認できず  
8mm 映写機（ELMO ST-180）／通電せず  
壁面にスクリーンサイズ、位置を点線表示  
展示記録写真（1972年撮影）

■山中 信夫（1948-1982）

□《ピンホール・カメラ》

「映像表現 '72」

1972（昭和 47）年  
合板、木材、塗料ほか  
約 幅 2000mm×高さ 2000mm×奥行 4000mm

「Re: play 1972/2015」

1972（昭和 47）年／2015（平成 27）年  
合板、木材、塗料ほか  
幅 1800mm×高さ 1800mm×奥行 3600mm／2015年再制作

■山本 圭吾（1936-）

□《行為による確認 No.1》

「映像表現 '72」

1972（昭和 47）年  
ビデオカメラ（SONY CVS-2000）＋ビデオテープ（1/2 インチ・オープ  
ンリールテープ）＋1/2 インチ・オープンリール VTR（SONY CV-2000） | 2  
台 [約 10秒の遅延]＋TVモニター（Victor 19M-105V） | 2台

「Re: play 1972/2015」

1972（昭和 47）年／2015（平成 27）年  
ビデオカメラ（SONY 3CCD DCR-TRV 900） | 2台＋ビデオ  
テープ（1/2 インチ・カセットテープ）＋1/2 インチ VTR（SONY SVO-260）  
 | 2台＋映像遅延装置（杉岡システム VM-800） [10-15秒の遅延]＋TVモニ  
ター（SONY CVM-2080） | 2台  
作家蔵

□インタビュー | 山本圭吾 2015年 20分

■米津 茂英（1943-2002）

□《無題》

「映像表現 '72」

1972（昭和 47）年  
8mm フィルム（シングル 8 | カラー） | 2本  
8mm 映写機（FUJICASCOPE M30） | 2台  
約 6分 32秒  
天吊り両面スクリーン（約 幅 841mm×高さ 594mm）

「Re: play 1972/2015」

1972（昭和 47）年／2015（平成 27）年  
16mm フィルム（カラー） [1972年オリジナルの 8mm フィルムを  
ブローアップ（引き延ばし） | 2本  
16mm 映写機（EIKI ESL-1） | 2台  
6分 32秒（ループ）  
天吊り両面スクリーン（幅 841mm×高さ 594mm）／2015年再制作

□《フレームを行く》1971年 8mm フィルム（デジタル化） 7分 8秒

■1972年「第5回現代の造形〈映像表現 '72〉—もの・場・時間・空間—  
Equivalent Cinema」

「企画メモ（日時不詳）」  
「はがき」  
「第1回実行委員会議事録（1972年8月26日）」  
「第2回実行委員会議事録（1972年9月16日）」  
「カタログ用ドローイング [河口龍夫]」  
「作家アンケートへの回答 [庄司達]（コピー）」  
「中原佑介「映像表現への志向」英訳（草稿）」  
「ポスター制作に関わる資料1」  
「ポスターに関わる資料2」  
「ポスター」  
「はがき」  
「FILM NOW チラシ」  
「記録写真」  
「『美術手帖』（1972年12月号）」  
「辻勝之「認識から表現へ——時間と空間の関係構造とは」『美術手帖』（1972年12月号）」  
「平野重光「展評」『美術手帖』（1972年12月号）」

■2015年 | 会場構成の再演

「ドローイング（広報素材） | 京都市美術館と東京国立近代美術館の  
平面図の重ねあわせ」  
「ドローイング（広報素材） | 映像の反転」  
「ドローイング（広報素材） | 写真内の断片の照合」  
「山本圭吾作品台のサイズ割り出し」  
「京都市美術館 2階窓からの展示風景 1、作品配置の割り出し」  
「京都市美術館 2階窓からの展示風景 2、作品配置の割り出し」  
「京都市美術館 2階窓からの展示風景 3、作品配置の割り出し」  
「河口龍夫作品のスクリーンサイズ割り出し」

「今井祝雄、柏原えつとむ作品のスクリーンサイズ割り出し」  
「山中信夫作品の蛇腹支持体サイズの割り出し」  
「スクリーン素材の選定のための実験」  
「フィルムのループ機構の実験」  
「図面」  
「スケッチ」

## ■2015年 | 8mm フィルムによる「再演」

### ■1967年-1968年 | 野外彫刻展として始まった「現代の造形」シリーズ

□「第1回現代の造形〈京都野外彫刻展〉」  
(1968年10月1日-10月30日、岡崎公園、京都)  
「ポスター」  
「はがき」  
「出品リスト+アンケート」  
「記録映像」

□「第2回現代の造形〈野外造形'69〉」  
(1969年10月20日-11月20日、鴨川公園、京都)  
「ポスター」  
「カタログ」

### ■1967年-1969年 | 「映像表現」前史

□「アート フィルムの会」  
「はがき | 「フィルム'67」(1967年11月11日、京都府立勤労会館第1会議室)」  
「上映プログラム | 「フィルム'67」(1967年11月11日、京都府立勤労会館第1会議室)」  
「チケット | 「ART FILM ASSOCIATION」(1968年?、場所不明)」  
「はがき | 「ART FILM No.3 New Cinema への期待 16mm 8mm ~ original film」(1970年4月11日、京都府立勤労会館第1会議室)」

□「ZONE こゝにたっている——そして?」(1968年11月8日、14日、19日、毎日新聞京都支局3階ホール)  
「チラシ」

□「映像は発言する!」(1969年1月12日-1月19日、galerie 16、京都)  
カタログ  
「企画メモ(「ZONE」のチラシ裏面)」  
「『毎日グラフ』1969年2月16日号」

□「続・映像は発言する!」(1969年2月4日-2月9日、信濃橋画廊、大阪)  
「はがき」  
「カタログ」

### ■1970年・1971年 | 「第3回 現代の造形(フィルム造形)」、「第4回現代の造形(映像表現'71)」

□「第3回現代の造形〈フィルム造形'70〉」(1970年11月14日、京都新聞ホール)  
「ポスター」  
「はがき」  
「カタログ」

□「第4回現代の造形〈映像表現'71〉-現代美術17人の志向-」(1971年10月30日、31日、京都新聞ホール)  
「入場整理券(デザイン: 柏原えつとむ)」  
「カタログ」  
「企画メモ」  
「出品作家へのアンケート」  
「出品作家への手紙(コピー)」

### ■1973年-1982年 | 「映像表現'72」以後の「現代の造形」

□「第6回現代の造形〈映像表現'73〉-写真・フィルム・ビデオ-」(1973年9月8日-9月14日、京都市美術館)  
「企画メモ」  
「企画メモ」  
「企画書」  
「カタログ」  
「はがき」

□「第7回現代の造形〈映像表現'74〉-FILM・CINEMA・VIDEO-」(1974年10月22日-11月24日、アート・コアホール)  
「カタログ」

□「第8回現代の造形・2つの企画展」/「〈喜怒哀楽〉現代美術50人展」(1975年9月24日-9月30日、大丸京都店)/「〈映像表現'75〉-喜怒哀楽-」(1975年9月29日、京都教育文化センター)  
「カタログ」

□「第9回現代の造形〈映像表現'76〉」(1976年10月23日、KBS レーザリアムセンター)  
「企画書」  
「カタログ」  
「「レーザリアムセンター」冊子」

□「現代の造形〈映像表現'77〉 FILM-時間の風景」(1977年10月15日、京都府立文化芸術会館)  
「カタログ」

□「京都国際映像展'78」(1978年10月7日、京都府立文化芸術会館)  
「カタログ」

□「映像表現'80〈ビデオで探る〉」(1980年5月20日-5月25日、京都市美術館)  
「カタログ」  
「記録写真」

□「映像表現'82〈もう一つの眼〉」(1982年10月5日-10月11日、京都市美術館)  
「カタログ」  
「出品リスト+平面プラン」